

地区市民センター（地区館）の基本的な役割

（「仙台市市民センターの施設理念と運営方針（令和 7 年 10 月改定）」より）

（1）地域住民本位の生涯学習拠点機能

〔学習ニーズ・地域課題を踏まえた特色ある事業の実施〕

- ・住民の学びや活動への意欲を喚起し主体的な参加を促進するためには、ニーズの把握が重要である。
- ・地域住民を対象にしたアンケート調査や事業運営懇話会、日々の地域情報の収集などを通して学習ニーズと地域課題を掘り起こし、地域住民の思いを言葉や形にして特色ある事業を実施する。

〔事業の魅力づくりと参加しやすい条件づくり〕

- ・事業の企画にあたっては「学びを通じての人と人とのつながり」を基本方針とし、地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）に努めるとともに、障害の有無や多文化共生の観点などにも留意し、多様な市民が参加しやすい条件となるよう配慮する。
- ・あわせて新しいデジタル技術の活用も積極的に進める。

〔市民参画の推進と市民の活動の育成支援〕

- ・市民の主体的な学びの活動が地域で多様かつ継続的に展開できるよう、市民参画による事業を積極的に推進するとともに、地域を基盤としたサークル活動や市民活動、ボランティアやジュニアリーダーの育成支援に取り組む。

（2）地域の交流・拠点機能

〔地域住民の交流の場、子どもたちの交流の場の確保〕

- ・多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。
- ・特に、地域の中で次代を担う子どもたちを見守り育てていくための子育て支援と青少年の交流の場、地域住民と児童生徒との交流の場の確保に配慮する。

〔様々な地域ネットワークの拠点機能〕

- ・地域にある様々な団体、NPO、ボランティア等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としてプラットフォーム機能を発揮できるよう努める。

（3）地域のコミュニティづくり機能

〔コミュニティ意識の醸成〕

- ・地域住民と協働し、地域の歴史・自然・行事などの地域資源を活かした地域文化の継承と創造の事業に継続的に取り組むとともに、地域の魅力と課題の発見を通して、多くの地域住民が地域と関わることができるよう積極的に働きかけ、地域住民のコミュニティ意識の醸成を図る。

〔地域活動を担う人材の育成〕

- ・地域課題を踏まえ、地域の諸団体や学校等と連携しながら、地域での多様な活動を担う人材の育成に努める。この場合において、青少年を含め幅広い世代の人材育成にも配慮しながら取り組む。

〔地区館事業に市民が主体的に関わる仕組みづくり〕

- ・地域に根差した地区館事業を市民と協働で推進するために、地域住民が地区館事業に主体的に関わる仕組み（地域住民による地区館ごとの運営協議会等）を創り活かす。

(4) 地域のコーディネート機能

〔地域にある機関・団体等のネットワーク化の支援〕

- ・町内会・PTA・商店街等の地域団体、NPO等の民間諸団体、学校等の教育機関や区役所等の行政機関等と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークが構築されるよう支援する。
- ・市民センターが持つ情報や人脈を有効に活用しつつ、自らも地域に出向くなどして積極的に認知度向上に努め、さらなる連携を促進する。

〔地域と行政機関との仲介・調整〕

- ・“地域の声”を施策や事業につなげるために、地域の諸団体等と行政機関等との仲介及び調整の窓口機能を担う。

(5) 地域の情報ステーション機能

〔地域の資源等の保管と公開〕

- ・歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材、活動といった、市民センターに集まってくる幅広い地域情報を多様な媒体に整理・保管し、住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。

〔生涯学習情報・地域情報の収集と提供〕

- ・紙媒体のほか、SNSなどデジタル技術も活用して発信力を高め、市民センターに関わる旬の情報や好事例を紹介する。
- ・地域内の学校や社会教育施設、区役所などの行政機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPOなどからの活動情報、募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。